

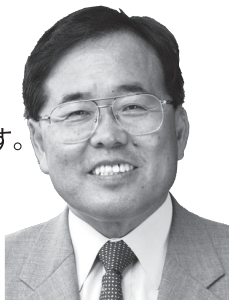
やまがら(山雀)



毎年、冬には自宅に来てくれます。

命と人権を大切に作る人にやさしい松山市政を実現しよう！

- 一人ひとりが大切にされる人間尊重社会の実現を目指し、生活に身近な問題も解決します。
- 教育と子育て予算を充実し、医療・介護・福祉に税金を使います。
- 平和・命・人権・環境を大切にし、子ども達に安心未来を引き継ぎます。
- 原発をやめて、自然エネルギーへの転換を促進します。(PPS電力の利用促進)
- 電車・バス・フェリーのシルバーパスを実現しよう(高齢者の元気を応援)



発行・梶原ときよし事務所

孤軍奮闘の3年半！議会改革と市民生活向上へ着実な成果！

市民のみなさまへ、私の決意

「一人ひとりが大切にされる人間尊重社会の実現」という理想を掲げ、私はこの3年半、全ての議会本会議で質問や討論で登壇し、市民みんなのための市政へ転換させようと努力してまいりました。また市議会報告通信「やまがら」を配布して、市議会内外の活動を報告してまいりました。



4年間の実績

市議会と党議員の数の倫理により間に葬られたとはいえず、松山市発注工事裏金疑惑の追及では、本市幹部と工事受注業者の癒着と裏金構造を暴き、二度と不正を起こさせない体質に変えるための監視宣言を行いました。

また、公募のはずの松山市城山公園及び公園内施設等の指定管理者決定過程の矛盾と、出来レースとしかいえない「社だけでの決定を追及、或いは本市の監査委員選任問題においては、監査委員の選任が本市のメインバンクである銀行から、9期36年にもわたり永年指定席のように選ばれ続けていることの不適切な関係を指摘し、不祥事発生の要素を取り除くよう要求しました。

残念ながら未だ、このような官民癒着ともいえる構造が現存する限り、職員の不祥事根絶どころか、大規模コンクリート大好き市政が続いて行くことは間違いありません。松山を元気にする為には、市政の実権を市民の手に取り戻すことが一番大切です。

これからも市民の皆さんと一緒に市政監視役に徹しながら松山を変えていきます。ご期待ください。ご支援も宜しくお願いします。

松山市議会議員

梶原ときよし

議会の活性化へ向けて前進

- セレモニー議会をやめさせるため、全議員の中で唯一人理事者に議会質問文を提出せず、なれあい答弁をやめさせ、緊張感ある質疑を展開した
- 議会質問における「問」答方式を導入(これまでのセレモニー議会から緊張感のある議会に激変)
- 定例議会の議員質問回数制限(年2回まで)を撤廃させ、全議会で毎回質問ができるようにした
- 教育委員会等の同意人事において抱負を明記させた

市政に対する要望の実現

- 津波避難対策として市内8000カ所に海拔表示標識を設置させた
- 市道小野3号線(平井町・食場町)の開通(東部地区の利便性が増した)
- タウンミーティングでの司会をプロから職員に変更させた(1回8万円の支出を取り止め、延べ700万円以上の無駄な税金支出を削減)
- 10年も続いた男だけの固定資産評価審査委員会に女性を登用させた
- 警察への戸籍謄本無断提供を大幅削減(これまで松山市は捜査に關係の無い人の戸籍謄本等を市民に無断で警察に提供していた)
- 奥道後方面への道路標識を充実させ観光を活性化
- 湯の山団地内交差点全面改修を実現(安全な交差点に変更)
- 校庭にバックネットを設置し安全を確保(湯山小)
- 男女共用トイレから男女別トイレに改築を実現(湯山中)
- 公園に大人の健康遊具の導入促進(ドイツでは主流)

市民の生活相談や日常活動

- 市道舗装・白線明示のやり替え、側溝補修・危険水路の安全ポール設置等の、市民の安全に関わることは即日対応してきました
- 障害者福祉年金支援・生活保護支援・生活福祉支援等の行政支援の実行につなげました
- DVや親の教育放棄による被害を受けた女性や子どもの相談も解決しました

約束を実現させるために厳しく監視していきます

- 約束を実現させるために厳しく監視していきます
- 小中学校の男女共用トイレの解消、トイレ洋式化の促進
- 女性の登用のない審議会をゼロにしてい
- 生活保護受給者の就労支援の拡大

高齢者の電車・バス・フェリーの利用無料化について

議会本会議と市民福祉委員会「シルバーパスの実現に向けて何度も質問しましたが、野志市長・市政執行部の反対で実現できていません。しかしまずは低料金化から、あくまで実現をめざします。申し訳ありません

2013年9月松山市議会の報告。(議会混乱の顚末)

こんには。いつもご支援をまたわり本当にありがとうございます。

さて、議長が議会の慣例を破った事から始まった今回の混乱ですが、劣勢の議長派イシンの会が中村知事まで応援の弁をもらい必死になって議長ポストを守ろうとする姿が情けなくなりました。

2度の議長不信任を可決されながら意味がわからない。議会の議決を無視する寺井議長。議会の議決を無視する議長が開催する議会とは何なのでしょうか？！

どこの世界(学級委員でも町内会他)でも「民主主義とやらを守る気があるのあれば、不信任されたなら速やかに自身を引く行動を取らなければ、会は成り立ちません!!」松山イシンの会を除く全ての会派が共同で提出した「議長辞職勧告決議案」は議員辞職を求めているのではなく「一旦議長を辞職し、即、再度議長に立候補して議員の信を問うよう求めたものです!!

いくら中村知事でも不正義を知りつつ、自分傘下の松山イシンの会を擁護するのは困難を極めたようです。あけくに出た言葉が「市議会の議長と市民は関係ないこと」だから「早く議案審議をするべき」と、議長人事を優先させるのは議会の自殺行為だ等と、混乱の原因をすり替えイシンの会を擁護する発言をしていました。

いくら何でも、自分が率いる松山イシンの会が行った「民主主義を否定する行為を隠す事ができないのは明らかな状況!!」そうならば、問題の本質をすり替えるしかない……この状況が、中村知事の軽率な発言を誘発してしまつたようです。

松山イシンの会の身内のパティだから本音がポロリと出たともいえるこの発言もまた、彼らの思想性そのものではないでしょうか。2度も繰り返した「議長と市民は関係ない」発言。いくら「市民として」と前置きしよう、知事の発言には変わりありません。

市議会や県議会の「議長」というポストは地方自治の2元代表制の一翼を担う議会の代表であり、議員が議長を選出するため直接、市民や県民が選んだわけではありませんが、市民や県民の代表の一人である事は間違いありません。知事の発言は明らかに市民と市議会や県民と県議会をも軽視するもので、厳重注意に値するものです。

わかり易く言えば、「国会議員が選内閣総理大臣は国民とは関係ない」首相は誰でもいいから早く審議をせよ! 言い放つたのと同じ事になります!!

もはや風前の灯と化した松山イシンの会に、自分だけではちゃんと後ろを見ながらリップサービスをしただけというのが本音のようです。ただ僅かではあります、松山イシンの会にも真面目な人はいるのも事実で、早く現実に気がついて欲しいです。

松山市議会は来年4月が改選です。しかし、残念ながら私には他の議員の事を気遣う余裕は全くありません。一番危ないと言われる「2期目」に加えて、厳しい質問が嫌な部の理事者と与党系のみなさんが私の周辺にプレッシャーをかけてきます。松山市議会が大きく変革しようとして動出したこの時期、負けるわけにはいきません!!

半沢さんに力水をもつたつもりで倍返しといきたいです。みなさんの応援を宜しくお願いします!!

議長辞職勧告決議の賛成討論

2013年9月6日 梶原ときよし

ネットワーク市民の窓の梶原時義でございます。

私はネットワーク市民の窓を代表し、寺井議長に対する2度目の議長辞職勧告決議案に賛成の討論を行います。

本会議6月議会で、寺井議長に対する議長辞職勧告決議案が28対12という圧倒的大差で可決され、寺井議長に対する不信任を通告しました。

議長は議員の中から議員により、投票で選ばれる以上、不信任をうけたならば速やかに辞職をしなければなりません。しかしながら寺井議長は議員辞職せず、3年目の続投という、議会ルールを無視した形で6月議会を閉会し、今日の9月議会に至っています。

今回の前代未聞の議会紛糾は、寺井現議長が原則一年という、議長の申し合わせ任期を自ら承知しながら、突然規定はない、続けるつもりだ」と宣言し、円滑な議会運営のための基本ルールや慣例をかなり捨てる行為に出た事から始まったのは間違いありません。

市民の皆さまにお伝えしたいのは松山市議会が議長人事で、任期を基本一年に決めている最大の理由は、議会自身の自浄作用のためにあるという事です。

というのも、市政二元代表制の翼である議会の長には市長と並ぶ大きな権限が与えられています。つまりその権限や権力に近寄りつつとする利権アプローチに対し、二年で議長は辞職して、議員の信任チェックを受けるシステムが有ること事故を未然に回避する有効な手段として機能してきたのです。

今回、辞職すべき現議長が、その申し合わせを守らず、議長の信任投票も拒み続けて続投した事は、議員や市民に説明できない何らかの隠された事実が有るとしか思えません。

私達が行った今回の議長辞職勧告決議はこの事をチェックするために、どうしても一旦辞職して、再度、議員の新任を得るよう要請しているものです。

また、寺井議長は、6月議会で議長辞職勧告決議が可決された後の会派代表者会で「これから議長職を続けるにおきましては、議員の皆さま方のご理解をいただきながら、お人とお話を続け、また会派代表の方とも協議しながら進めていきたいと思っております。決議を真摯に受け止め、一生懸命、全力でやります」と繰り返し発言しておきながら、9月議会開会の今日までの2ヶ月間、一言の会話も二つの会議をも開く事をしなかった事実は、絶対に許されるものではありません。

寺井議長には即刻辞表を提出する事を勧告し、ネットワーク市民の窓会派の賛成討論とします。

以上

梶原ときよしの活動予定や市議会のスケジュールはHPでご確認いただけます。

ホームページ

梶原ときよし

検索

http://tokiyoshi.sakura.ne.jp

「スケジュール」に行動予定と感想を入れていますのでクリックしてください。

梶原ときよし事務所

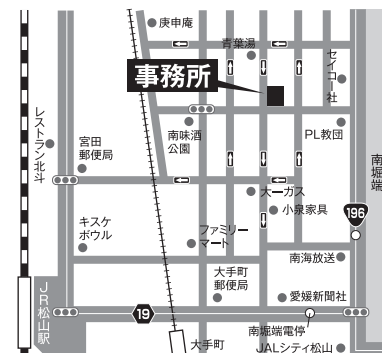
〒790-0813 松山市萱町2丁目1-2
TEL 089-947-2258 FAX 089-947-2259
携帯 080-5669-8586

自宅/松山市湯の山4丁目1-5
TEL/FAX/977-8586
E-mail sizenha-812@lib.e-catv.ne.jp

- 午後1時～午後5時まで
- 土・日・祝日はお休みです。



お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。



議会公質問

9月議会一般質問より抜粋

2013年9月24日



◆松山市城山公園及び公園内施設等に係る指定管理者
指定の公募を、競争原理を排除するかたちで
伊予鉄道㈱一社に決めたことについて

◆小・中学校トイレの洋式化促進について

◆本市市民部が犯罪捜査に全く関係のない
人を含む市民の個人情報をも、市民に無断で
警察に垂れ流し(横流し)をし続けている
ことは憲法違反であり
即刻やめるべきではないのか



【質問】昨年12月議会でご決された城山公園関連5施設の委託先を、3月議会でもた同じ伊予鉄道㈱に決めたことについて、昨年までは業種の違うロープウェイなどの索道施設管理と公園管理(樹木管理を含む)を分割発注していたものを、今回わざわざ一括発注したことで、実質的に競争原理が排除された公募となり、結局伊予鉄道㈱が受注した。

①このことにより伊予鉄道㈱一社しか応募できなくなることは予想できたのではないのか。
②言いかえれば伊予鉄道㈱に受注させるために一括発注に変更したのではないかと、疑われても仕方がないのではないのか。

【答弁】募集にあたりましては、四国内においても、索道事業を経営している事業者は、複数あるとともに、競争原理を働かせるためそれぞれの専門分野を活かした複数事業者による共同応募も可能としていましたが、結果とし

松山市城山公園及び公園内施設等に係る指定管理者指定の公募を競争原理を排除するかたちで、伊予鉄道㈱一社に決めたことについて

て1社の応募となったものであり、当初から特定業者を想定したものではない。

【質問】本市議会には伊予鉄道㈱の社員議員がいる。社員議員がいる企業が本市の発注する仕事を受注する可能性がある場合は、より透明性を高める努力が必要だと思いが、具体的に何らかの処置を講じたのか。

【答弁】地方公共団体と指定管理者との関係は取引関係にはあたらず、地方自治法上の兼業禁止の規定は適用されないこととなっています。



【質問】伊予鉄道㈱にはロープウェイ管理の技術者はいりますが、公園管理に欠かせない造園管理技士や樹木医等の技術者が一人もいない。
①元請に技術者がいなくて、どうやって公園の樹木管理をするのか。
②造園業者でない企業を公園管理の公募対象にするのは不自然ではないのか。

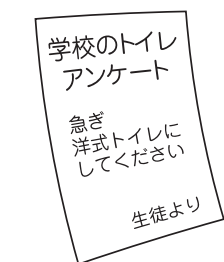
【答弁】ロープウェイなどの索道施設の運転や保守管理等におきましては、鉄道事業法の規定により、索道技術管理者等の有資格者が必要となります。一方、公園管理につきましては、市直営の際も有資格職員は配置しておりませんでしたが、日常的に現地確認するとともに、必要に応じて専門家の助言を仰ぎ対応することで、適正な管理を行ってまいりました。そして、現在は、指定管理者から、これまでと同様に造園関係業者へ委託しており、樹木の管理等につきましては、適切に管理されています。

小・中学校トイレの洋式化促進について(郊外の小学校が放置されている)

【質問】神戸市が昨年、市内の公立小・中学生1500人に実施したトイレアンケートによると、「学校で排便を我慢したことがある」と答えた子供は27.9%もあり、その我慢した理由は「和式が苦手」42.1%、「臭い」18.3%、「恥ずかしい」14.9%という結果だった。排便を我慢すると学習の集中力が低下するほか、健康を損なう恐れもあり、極力早くトイレの改修と排せつ教育を実施するべきではないか。

【質問】本市の小・中学校におけるトイレの洋式化率は36.8%にすぎませんが、神戸市のアンケートでは、子供たちの85%が和式よりも洋式トイレを望んでいるというデータが出ている。

①学校現場において、トイレの洋式化は明らかに意識されていない。子供たちに対するアンケート調査を含め、ここ2、3年で洋式化率を大幅に上げるべきではないか。
②とりわけ洋式化率0%の怒和・津和地、5%台の難波・粟井の4小学校と15%未満の湯山・旭・南第二・北の4中学校については、補正予算を組んでも大至急改善を図るべきではないか。



(教育委員会がアンケートをしない理由は?)

【答弁】まず、子供達に対するアンケート調査ですが、本市として長期的には洋式化を進めることとしているため、アンケート調査の実施は予定していません。

また、2、3年で洋式化率を大幅に上げること、及び、洋式化率の低い学校を、補正予算対応により大至急改善を図ることについては、大幅に洋式化率を向上させるための個別予算を確保することは、難しいものと考えています。

ただし、洋式化率の低い学校として例示されたもののうち怒和小・津和地小・粟井小・湯山中も含めて、平成26年度に13棟、平成27年度に10棟、平成28年度に12棟の校舎でトイレの洋式化ができる予定としています。

本市市民部が犯罪捜査に全く関係のない人を含む市民の個人情報をも、市民に無断で警察に垂れ流し(横流し)をし続けていることは憲法違反であり即刻やめるべきではないのか

【質問】本市市民部は犯罪捜査に全く関係のない人を含む、市民の大切な個人情報(戸籍謄本など)を、捜査協力と称して、市民に無断で勝手に年間3万人分以上も警察に垂れ流し(横流し)を続けている。

①日本国憲法第11条にある、侵すことのできない永久の権利として国民に与えられた基本的人権を妨げることになり、憲法違反ではないか。

②憲法第13条には「国民は個人として尊重される」とある。国民の幸福追求に対する国民の権利(プライバシー)を守る権利などについては、公共の福祉に反しない限り国政上最大の尊重を必要とするところがあるが、本市の個人情報無断垂れ流しは、まさにこれに違反するのではないのか。

【答弁】警察等からの照会につきましては、刑事訴訟法に基づき、適法・適正に対応しており、憲法に違反するものではないと思います。(注1)

次に、憲法第13条と個人情報提供との関連についてお答えします。犯罪の早期解決を図り市民生活の安寧を守るためには、国民の権利にも一定の制限が加えられる状況もありえると考えています。(注2)

(注1)警察の内部通達でも刑事訴訟法では戸籍謄本等の書類請求はできないとはっきり明記しています。(注2)善良な市民までも捜査協力と称してプライバシーが丸裸にされています。市民全員が容疑者扱いされています)

